

第2次

日野町人口ビジョン

令和2年4月
日 野 町

目 次

1	日野町の人口の現状分析・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	（１）人口・世帯数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	（２）平成１２年から現在までの人口増減・・・・・・・・	3
	（３）平成１２年から各年度ごとの人口増減・・・・・・・・	4
	（４）年代別人口増減・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（５）自然増減・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	（６）社会増減・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	（７）人口移動の状況（県外及び県内）・・・・・・・・	9
	（８）人口動向のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・	10
2	日野町の将来人口の推計と分析・・・・・・・・・・	11
	（１）総人口・年齢区分別人口の推計【社会人口問題研究所推計】・・	11
	（２）合計特殊出生率による人口の推計【日野町推計１】・・・・・・・・	12
	（３）移住者を考慮した人口の推計【日野町推計２】・・・・・・・・	13
	（４）人口推計のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・	17

1 日野町の人口の現状分析

今後、講ずべき施策の検討材料とするため、総務省統計局が調査した平成7年度から現在に至る20年間の人口推移を把握し、自然増減（出生者数と死亡者数の差により生じる増減）の要因と社会増減（転入者数と転出者数の差により生じる増減）の要因とに分けて、それぞれがどのように影響してきたか等を分析する。

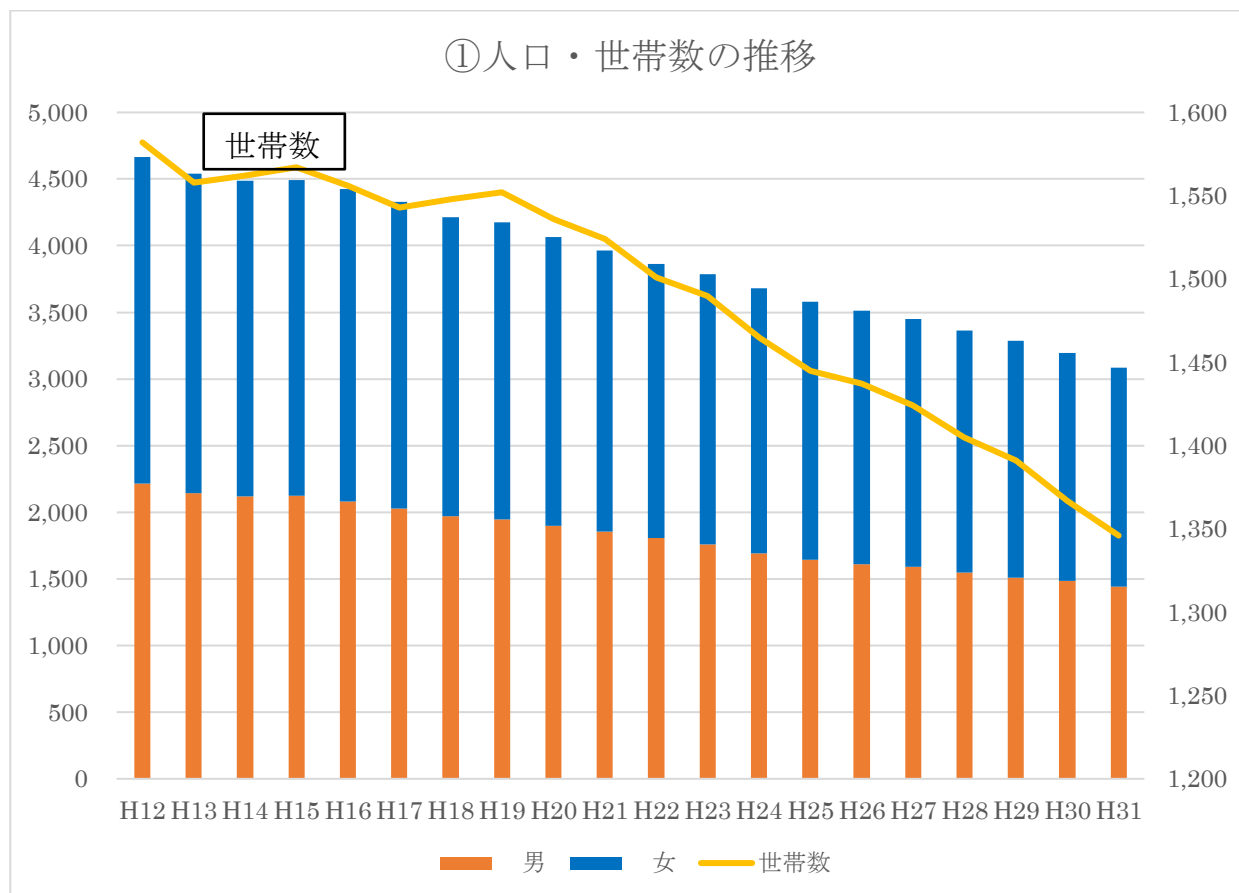
なお、ここでは「市区町村別人口動態調査」の住民基本台帳人口・世帯数を使用する。（各年度4月1日現在の数値とする）

（1）人口・世帯数の推移

（表－1）平成12年から平成31年までの人口・世帯数の推移（各年4／1現在）

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
人口	4,666	4,539	4,489	4,490	4,425	4,327	4,213	4,173	4,067	3,965
男	2,215	2,141	2,117	2,122	2,081	2,028	1,972	1,947	1,896	1,857
女	2,451	2,398	2,372	2,368	2,344	2,299	2,241	2,226	2,171	2,108
世帯数	1,582	1,558	1,562	1,567	1,556	1,543	1,548	1,552	1,536	1,524

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
人口	3,865	3,786	3,682	3,581	3,510	3,452	3,362	3,285	3,194	3,086
男	1,809	1,760	1,693	1,644	1,610	1,590	1,549	1,510	1,486	1,440
女	2,056	2,026	1,989	1,937	1,900	1,862	1,813	1,775	1,708	1,646
世帯数	1,501	1,490	1,465	1,445	1,437	1,424	1,405	1,391	1,367	1,346



《考察》

（表－１）は平成１２年４月１日から平成３１年４月１日までの男女別人口及び世帯数の推移を表したものである。

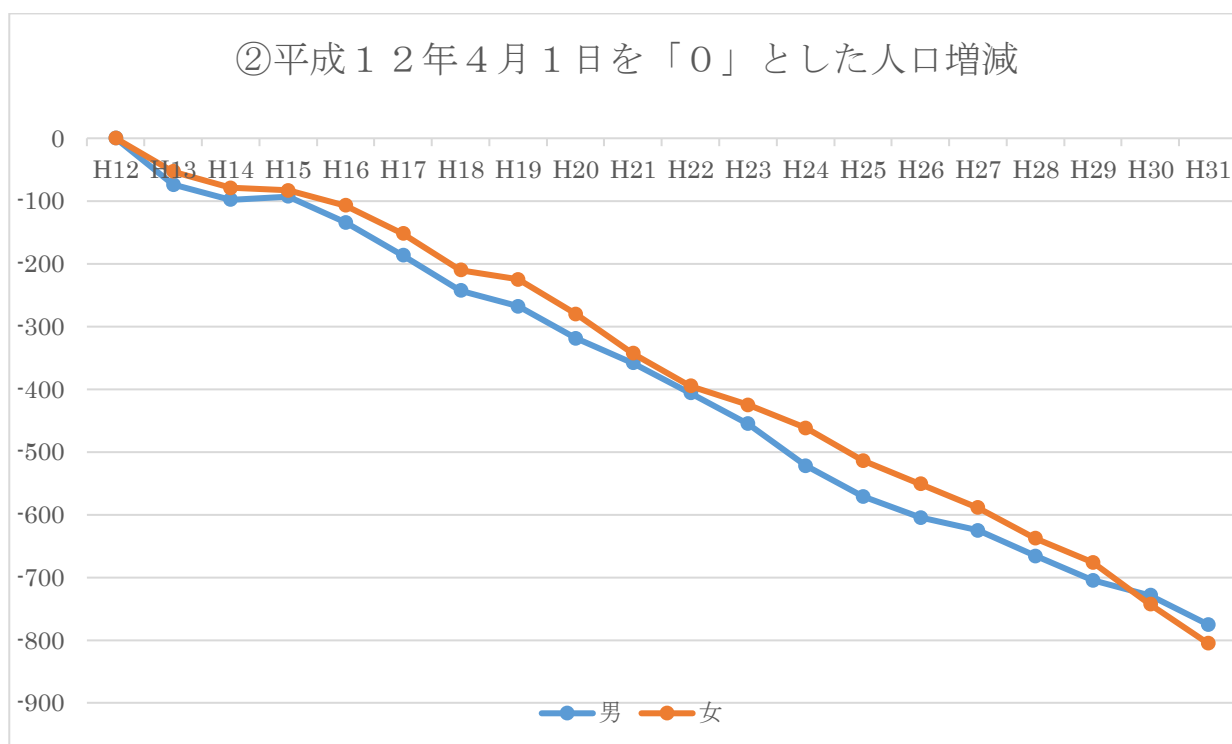
総人口は減少傾向にある。日野町の人口はこの２０年間で男性７７５人（３５．０％）、女性８０５人（３２．８％）、合計１，５８０人（３３．９％）が減少している。

（２）平成１２年から現在までの人口増減

（表－２）平成１２年４月１日を０とした場合の人口増減

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
全体	0	-127	-177	-176	-241	-339	-453	-493	-599	-701
男	0	-74	-98	-93	-134	-187	-243	-268	-319	-358
女	0	-53	-79	-83	-107	-152	-210	-225	-280	-343

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
全体	-801	-880	-984	-1085	-1156	-1214	-1304	-1381	-1472	-1580
男	-406	-455	-522	-571	-605	-625	-666	-705	-729	-775
女	-395	-425	-462	-514	-551	-589	-638	-676	-743	-805



《考察》

（表－２）は、平成１２年４月１日現在の人口（男性２，２１５人、女性２，４５１人、合計４，６６６人）を「０」として、年度ごとの人口の増減を表したものである。

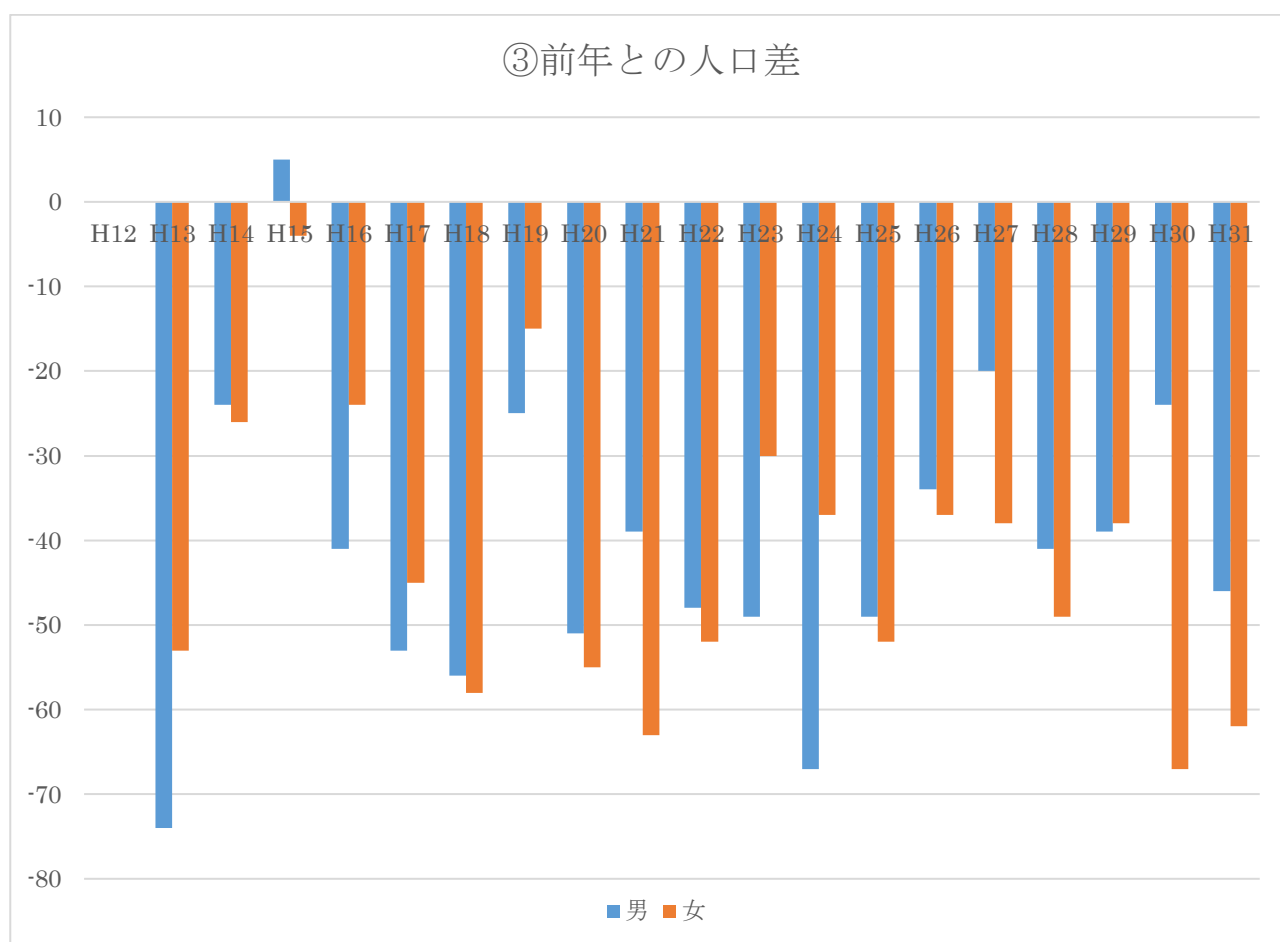
全体を通じて男女ともに大幅に減少しており、この２０年間で約３割減少している。

(3) 平成12年から各年度ごとの人口増減

(表-3) 平成12年4月1日を起点とし前年4月1日を0とした場合の人口増減

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
全体	0	-127	-50	1	-65	-98	-114	-40	-106	-102
男	0	-74	-24	5	-41	-53	-56	-25	-51	-39
女	0	-53	-26	-4	-24	-45	-58	-15	-55	-63

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
全体	-100	-79	-104	-101	-71	-58	-90	-77	-91	-108
男	-48	-49	-67	-49	-34	-20	-41	-39	-24	-46
女	-52	-30	-37	-52	-37	-38	-49	-38	-67	-62



《考察》

(表-3) は、平成12年4月1日から各年度ごとに前年度との人口差を表したものである。

毎年、約80人減少している。また、平成12年に発生した「鳥取県西部地震」の影響で転出者が増加したため、平成13年が大きく減少している。その後、住宅整備等の復興対策が進んだため一時的に転入者が増加し、平成15年は人口の増減がほぼ均衡となった。

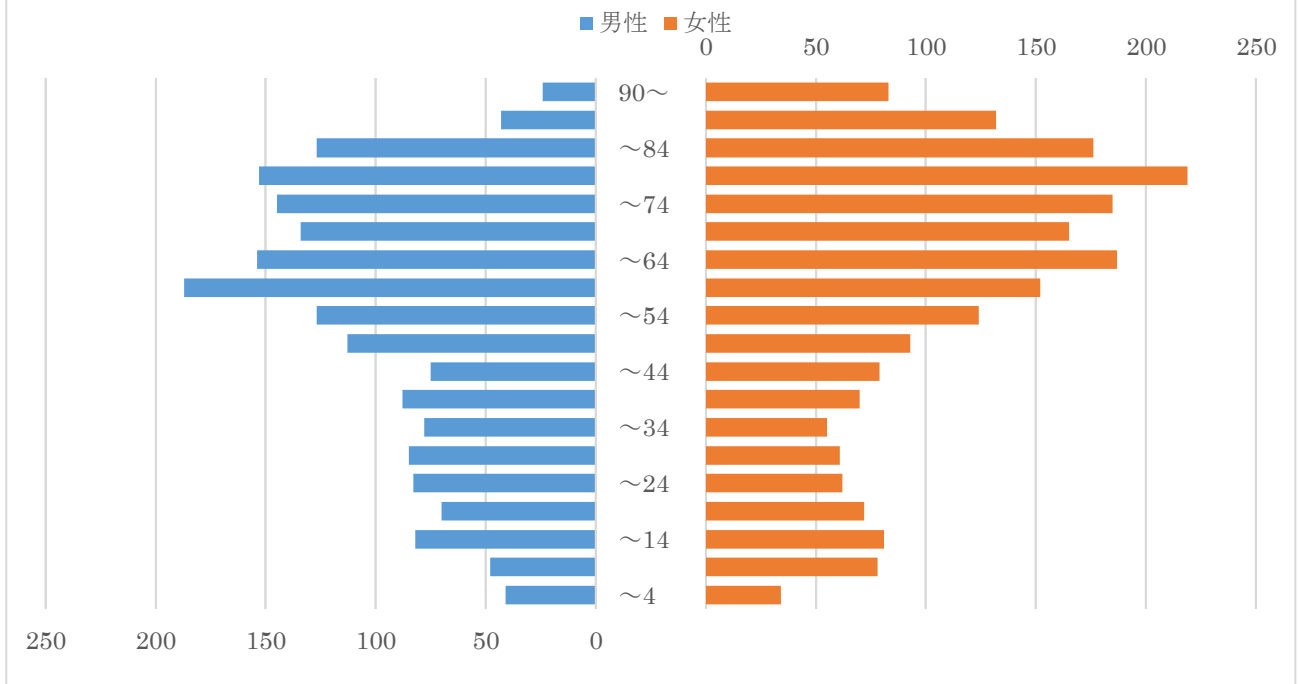
その後、人口の減少が続いており、平成27年以降は女性人口の減少が顕著である。

(4) 年代別人口増減

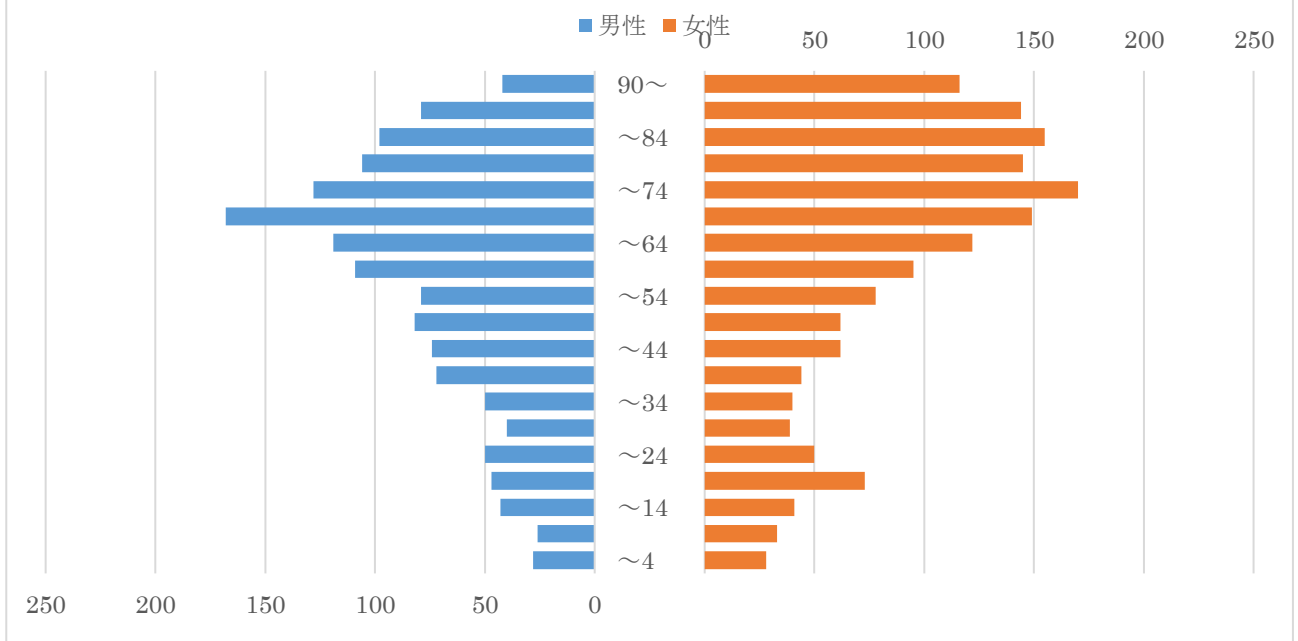
(表-4) 平成21年4月1日と平成31年4月1日の男女別5歳階級別の人口比較

	男			女			合計		
	H21	H31	増減	H21	H31	増減	H21	H31	増減
0～4	41	28	-13 (△31.7%)	34	28	-6 (△8.8%)	75	56	-19 (△25.3%)
5～9	48	26	-22 (△45.8%)	78	33	-45 (△57.7%)	126	59	-67 (△53.2%)
10～14	82	43	-39 (△47.5%)	81	41	-40 (△49.4%)	163	84	-79 (△48.5%)
15～19	70	47	-23 (△32.9%)	72	73	1 (1.4%)	142	120	-22 (△15.5%)
20～24	83	50	-33 (△39.8%)	62	50	-12 (△19.4%)	145	100	-45 (△31.0%)
25～29	85	40	-45 (△52.9%)	61	39	-22 (△36.1%)	146	79	-67 (△45.9%)
30～34	78	50	-28 (△35.9%)	55	40	-15 (△27.3%)	133	90	-43 (△32.3%)
35～39	88	72	-16 (△18.2%)	70	44	-26 (△37.1%)	158	116	-42 (△26.6%)
40～44	75	74	-1 (△1.3%)	79	62	-17 (△21.5%)	154	136	-18 (△11.7%)
45～49	113	82	-31 (△31.7%)	93	62	-31 (△33.3%)	206	144	-62 (△30.1%)
50～54	127	79	-48 (△37.8%)	124	78	-46 (△37.1%)	251	157	-94 (△37.5%)
55～59	187	109	-78 (△41.7%)	152	95	-57 (△37.5%)	339	204	-135 (△39.8%)
60～64	154	119	-35 (△22.7%)	187	122	-65 (△34.8%)	341	241	-100 (△29.3%)
65～69	134	168	34 (△25.4%)	165	149	-16 (△9.7%)	299	317	18 (6.0%)
70～74	145	128	-17 (△11.1%)	185	170	-15 (△8.1%)	330	298	-32 (△9.7%)
75～79	153	106	-47 (△30.7%)	219	145	-74 (△33.8%)	372	251	-121 (△32.5%)
80～84	127	98	-29 (△22.8%)	176	155	-21 (△11.9%)	303	253	-50 (△16.5%)
85～89	43	79	36 (83.7%)	132	144	12 (9.1%)	175	223	48 (27.4%)
90～	24	42	18 (75%)	83	116	33 (39.8%)	107	158	51 (47.7%)
合計	1857	1440	-417 (△22.4%)	2108	1646	-462 (△21.9%)	3965	3086	-879 (△22.1%)

④人口ピラミッド（平成21年4月1日）



⑤人口ピラミッド（平成31年4月1日）



《考察》

（表－４）は成２１年４月１日と平成３１年４月１日の男女別５歳階級別の人口比較を表したものである。

総人口は大幅な減少傾向にある。日野町の人口はこの１０年間で男性４１７人（２２．４％）、女性４６２人（２１．９％）、合計８７９人（２２．２％）が減少している。

グラフ②及び③は平成２１年４月１日と平成３１年４月１日の５歳階級男女別人口ピラミッドである。

およそ１０年間で若年層、生産年齢人口の急激な減少が見受けられる。

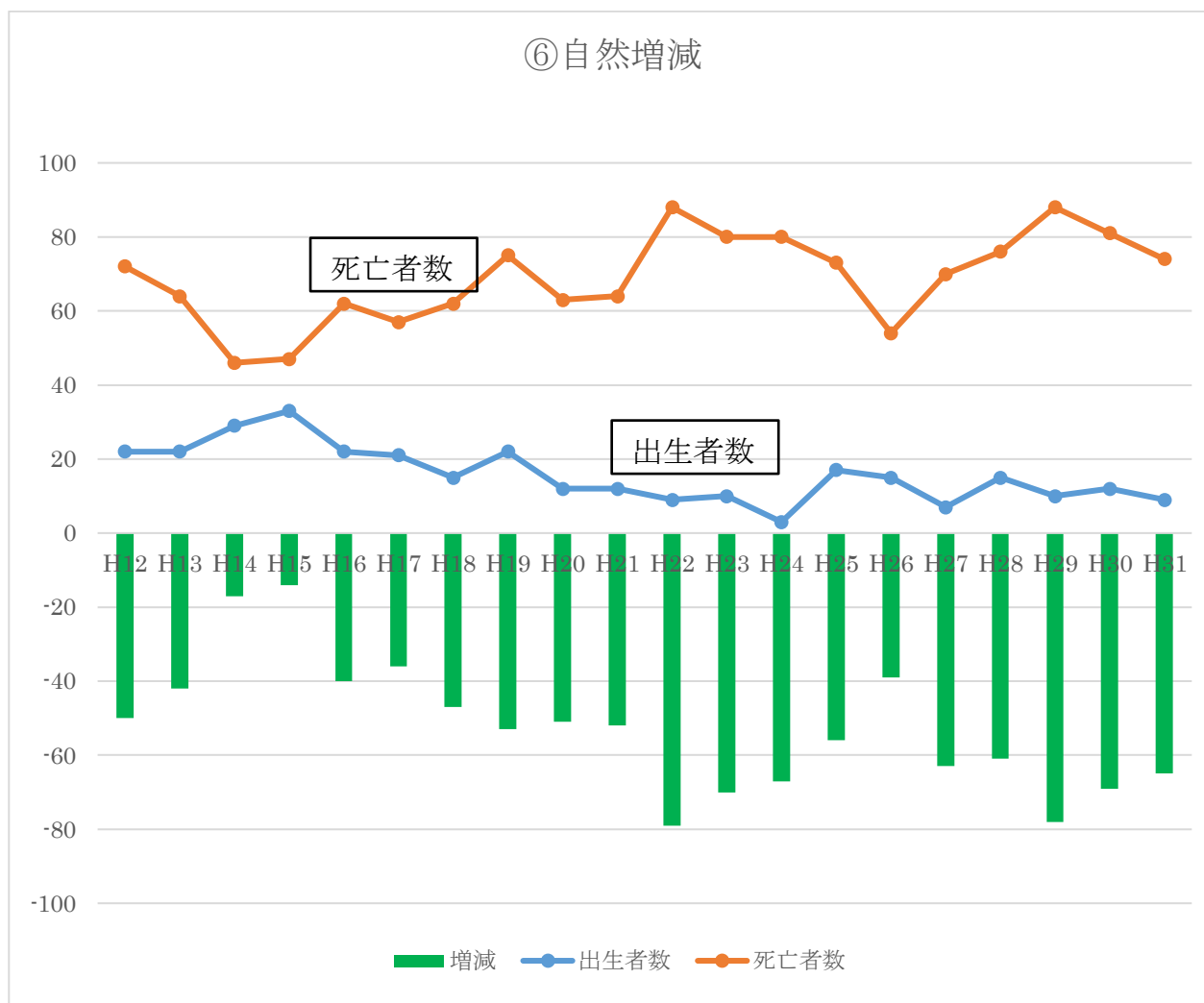
(4) 自然増減

(表－５) 自然増減（出生者数と死亡者数の差により生じる増減）

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
出生者数	22	22	29	33	22	21	15	22	12	12
死亡者数	72	64	46	47	62	57	62	75	63	64
増 減	-50	-42	-17	-14	-40	-36	-47	-53	-51	-52

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
出生者数	9	10	13	17	15	7	15	10	12	9
死亡者数	88	80	80	73	54	70	76	88	81	74
増 減	-79	-70	-67	-56	-39	-63	-61	-78	-69	-65

(鳥取県人口移動調査 各年 1 / 1 ～ 1 2 / 3 1)



《考察》

(表－５) は平成 11 月年から平成 30 年の間の出生者数と死亡者数の差による自然増減の推移を表したものである。

すべての年度で死亡数が出生数を上回っており、自然減による人口減少が続いている。特に出生数は、平成 21 年以降の直近 10 年間で年平均 12 人ととどまっている。

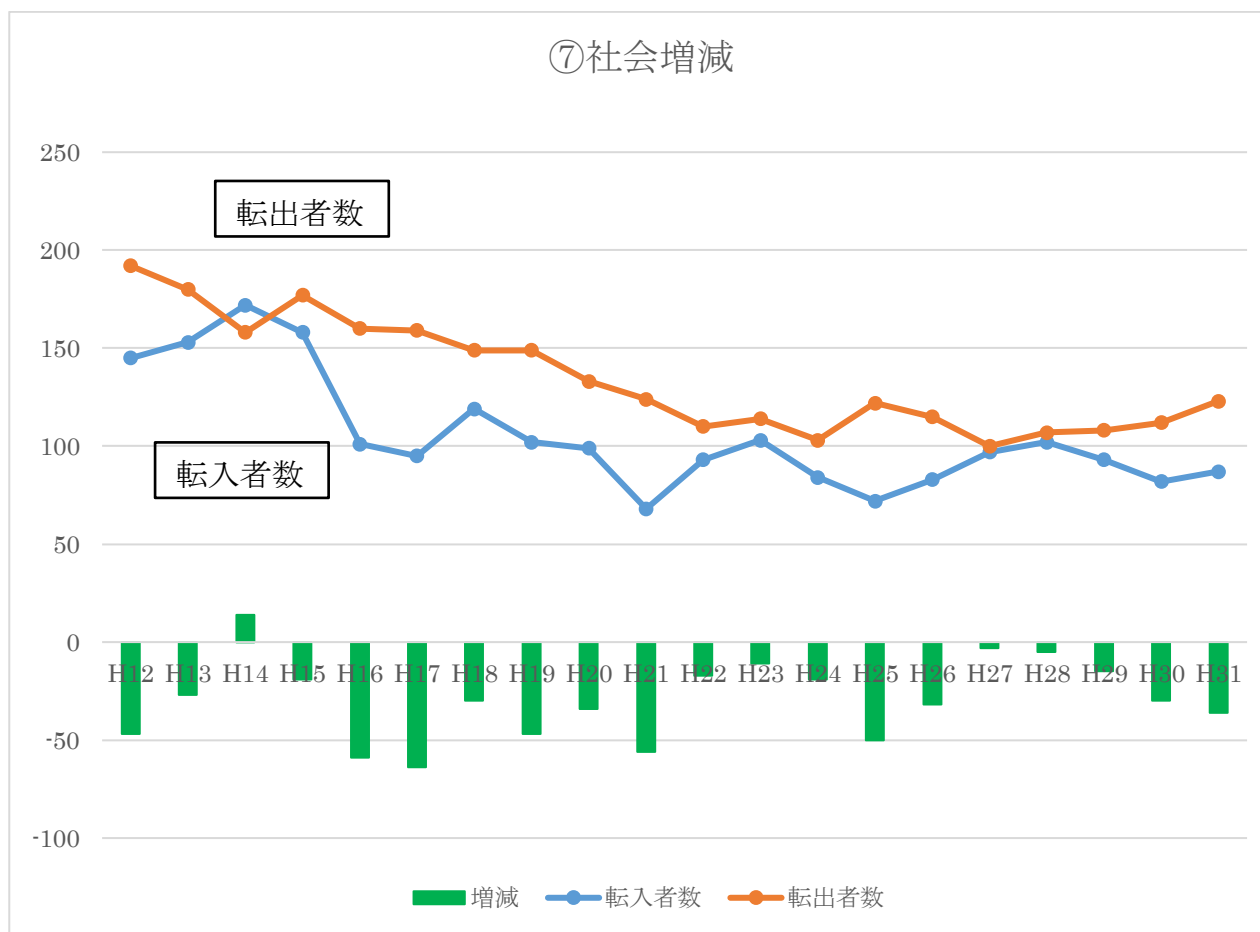
(5) 社会増減

(表-6) 社会増減（転入者数と転出者数の差により生じる増減）

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
転入者数	145	153	172	158	101	95	119	102	99	68
転出者数	192	180	158	177	160	159	149	149	133	124
増減	-47	-27	14	-19	-59	-64	-30	-47	-34	-56

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
転入者数	93	103	84	72	83	97	102	93	82	87
転出者数	110	114	103	122	115	100	107	108	112	123
増減	-17	-11	-19	-50	-32	-3	-5	-15	-30	-36

(鳥取県人口移動調査 各年1 / 1 ~ 12 / 31)



《考察》

(表-6) は平成11年から平成30年の間の転入者数と転出者数の差による社会増減の推移を表したものである。

平成12年に発生した鳥取県西部地震の影響で転出者が急増したが、その後の震災対策事業により転入者数が増加し、一定の成果が表れたことがわかる。しかし、その後は減少傾向にある。

(6) 人口移動の状況（県外及び県内）

(表－7) 県内外転入出状況（H27～R1）

県内 社会増減		県内 計	鳥取市	米子市	倉吉市	境港市	岩美町	若桜町	智頭町	八頭町	三朝町	湯梨浜町
H31.1 ～ R1.12	転入	47	11	22	3	1	0	0	0	0	0	0
	転出	98	10	62	4	1	0	0	0	1	0	0
	増減	-51	1	-40	-1	0	0	0	0	-1	0	0
H30.1 ～ H30.12	転入	47	2	31	1	1	0	1	0	0	0	0
	転出	67	11	28	5	2	0	0	0	1	0	1
	増減	-20	-9	3	-4	-1	0	1	0	-1	0	-1
H29.1 ～ H29.12	転入	57	13	26	1	3	0	0	0	1	0	0
	転出	71	7	45	1	1	0	1	0	1	0	0
	増減	-14	6	-19	0	2	0	-1	0	0	0	0
H28.1 ～ H28.12	転入	62	15	30	2	4	1	0	0	1	0	0
	転出	72	6	48	1	4	0	0	0	0	0	0
	増減	-10	9	-18	1	0	1	0	0	1	0	0
H27.1 ～ H27.12	転入	57	5	30	2	5	0	0	0	4	0	0
	転出	62	3	37	1	5	0	0	0	0	1	0
	増減	-5	2	-7	1	0	0	0	0	4	-1	0
H27 ～ R1	転入	270	46	139	9	14	1	1	0	6	0	0
	転出	370	37	220	12	13	0	1	0	3	1	1
	増減	-100	9	-81	-3	1	1	0	0	3	-1	-1

県内 社会増減		琴浦町	北栄町	日吉津村	大山町	南部町	伯耆町	日南町	江府町	県外	社会 増減
H31.1 ～ R1.12	転入	0	0	0	1	2	3	0	4	40	87
	転出	1	0	2	2	0	10	2	3	25	123
	増減	-1	0	-2	-1	2	-7	-2	1	15	-36
H30.1 ～ H30.12	転入	0	0	0	0	2	3	2	4	35	82
	転出	1	0	4	1	7	2	1	3	45	112
	増減	-1	0	-4	-1	-5	1	1	1	-10	-30
H29.1 ～ H29.12	転入	2	0	0	3	1	3	0	4	36	93
	転出	6	0	1	0	0	4	0	4	37	108
	増減	-4	0	-1	3	1	-1	0	0	-1	-15
H28.1 ～ H28.12	転入	2	0	0	1	1	1	3	1	40	102
	転出	0	0	0	2	1	8	2	0	35	107
	増減	2	0	0	-1	0	-7	1	1	5	-5
H27.1 ～ H27.12	転入	0	0	2	1	0	2	4	2	40	97
	転出	0	0	3	0	3	1	7	1	38	100
	増減	0	0	-1	1	-3	1	-3	1	2	-3
H27 ～ R1	転入	4	0	2	6	6	12	9	15	191	461
	転出	8	0	10	5	11	25	12	11	180	550
	増減	-4	0	-8	1	-5	-13	-3	4	11	-89

《考察》

(表－7) は平成27年1月から令和元12月までの間に日野町から県内各市町村へ転出した人数、県内各市町村から日野町へ転入した人数及び県外へ転出、転入した人数を表したものである。

進学や県外からの転入出は若干であるが転入が超過しており、進学や就職による転出をU I ターンで補っていると思われる。

県内では米子市への転入出が圧倒的に多く81人の転出超過となっており人口減少の要因の一つになっている。

(7) 人口動向のまとめ

日野町が誕生して以来、人口、世帯数共に減少を続け、平成22年4月から平成31年4月までの10年間で年間平均78人(約2%)のペースで減少しつづけ、平成22年4月と平成31年4月の比較では779人の減(約20%)となっている。

減少人数のうち過去10年間で自然減が約73%、社会減が約27%となっている。

自然増減のうち出生者数は減少傾向にあり、平成22年から平成31年までの10年間で117名、年平均11.7名の出生数であり、死亡者数764名(年平均76.4名)を大きく下回っている。

また、社会増減では転入者数が平成22年から平成31年の10年間で896名、転出者数が1,114名で転出超過者数が218名(年平均21.8名)となっている。

過去10年間の人口減少の傾向は、年代別にみると、5～9歳が最も割合が高く、次いで10～14歳、25～29歳と続いている。若年層の人口減少が少子化をもたらし、人口減少の大きな要因になっている。

転出先は大多数が県西部の中核都市である米子市へ流出しており、人口減少の要因になっている。転出理由としては、進学、就職によるものや結婚を機に町外へ新たな生活の場を求めると推測される。

2 日野町の将来人口の推計と分析

(1) 総人口・年齢区分別人口の推計

ここでは、国勢調査による人口を基礎数値とし、内閣府地方創生推進室が社会人口問題研究所の推計に準拠して提供する推計用ワークシートを使用した今後の日野町人口について表記する。

(表－8) 国勢調査による総人口の推移

	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)
人口	4,921	4,516	4,185	3,745	3,278
男	2,323	2,140	1,939	1,716	1,490
女	2,598	2,376	2,246	2,029	1,788

(表－9) 社会人口問題研究所の推計

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
人口	3,278	2,837	2,434	2,082	1,766	1,481	1,225	1,003	825	679
男	1,490	1,279	1,094	937	792	662	548	448	368	301
女	1,788	1,558	1,340	1,145	974	819	677	555	457	378

(表－10) 社会人口問題研究所推計の年齢（3区分）別人口

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総数	3,278	2,837	2,434	2,082	1,766	1,481	1,225	1,003	825	679
～14	257	183	149	127	106	90	74	59	45	36
～64	1,481	1,201	958	783	654	536	431	362	302	242
65～	1,540	1,453	1,327	1,172	1,006	855	720	582	478	402
75～	937	878	862	813	741	635	514	421	359	290

(表－11) 社会人口問題研究所推計の年齢（5歳階級）別人口

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総数	3,278	2,837	2,434	2,082	1,766	1,481	1,225	1,003	825	679
～4	58	51	41	35	30	25	19	15	11	9
～9	76	56	51	41	35	30	25	19	15	11
～14	123	76	57	51	41	35	30	25	19	15
～19	114	100	62	47	42	34	29	25	21	15
～24	80	67	58	36	27	24	20	17	15	12
～29	89	83	70	62	38	28	26	21	18	15
～34	87	79	75	62	55	35	26	23	19	16
～39	134	82	75	70	59	52	33	24	22	18
～44	130	122	75	69	64	54	48	30	22	20

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
～49	139	128	120	73	67	63	54	47	29	22
～54	181	136	124	118	72	67	62	53	46	29
～59	243	177	133	122	116	71	66	61	52	46
～64	284	227	166	124	114	108	67	62	58	49
～69	327	266	213	156	117	108	103	63	59	55
～74	276	309	252	203	148	112	103	98	61	56
～79	270	245	277	226	183	134	101	93	88	55
～84	291	237	214	245	201	164	121	91	83	79
～89	236	220	184	165	193	159	130	96	72	66
90～	140	176	187	177	164	178	162	142	115	90

(2) 合計特殊出生率による人口の推計【日野町推計1】

(表-12) 国、鳥取県、日野町の合計特殊出生率の推移

	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
国	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.46	1.45	1.43	1.42
鳥取県	1.46	1.54	1.58	1.57	1.62	1.60	1.65	1.60	1.66	—
日野町	1.07	0.94	0.84	1.31	1.79	1.95	0.96	1.66	1.54	—

※合計特殊出生率とは・・・

1人の女性が生涯に産むと見込まれる子どもの数。その年の15～49歳の女性が産んだ数をもとに算出する。2.07が人口を維持できる水準とされる。

(表-13) 鳥取県、日野町の合計特殊出生率の仮定値

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
鳥取県	1.65	1.75	1.85	1.95	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
日野町	1.46	1.58	1.71	1.83	1.95	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07

※日野町の設定方法

H27の全国平均値(1.46)を基準とし、2040年に2.07になるよう段階的に上昇した場合の数値

(表-14) 【日野町推計1】内閣府推計に日野町合計特殊出生率を考慮した推計

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
人口	3,278	2,849	2,458	2,121	1,823	1,545	1,299	1,088	914	771
男	1,490	1,286	1,107	956	821	693	585	492	414	350
女	1,788	1,563	1,351	1,165	1,002	852	714	596	499	422

(表-15) 【日野町推計 1】の年齢(3 区分) 別人口

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総数	3, 278	2, 849	2, 458	2, 121	1, 823	1, 545	1, 299	1, 088	914	771
～14	257	195	174	166	152	140	126	110	93	79
～64	1, 481	1, 200	958	783	664	552	453	396	343	291
65～	1, 540	1, 454	1, 325	1, 172	1, 007	853	720	582	478	402
75～	937	879	813	813	741	634	515	421	359	290

(表-16) 【日野町推計 1】の年齢(5 歳階級) 別人口

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総数	3, 278	2, 849	2, 458	2, 121	1, 823	1, 545	1, 299	1, 088	914	771
～4	58	62	55	51	47	42	36	31	25	23
～9	76	57	61	54	50	47	42	36	31	25
～14	123	76	57	61	55	50	47	42	37	31
～19	114	100	62	47	50	45	41	39	35	30
～24	80	67	58	36	27	30	26	24	23	20
～29	89	83	70	61	38	28	31	28	26	24
～34	87	79	74	62	55	34	26	28	25	23
～39	134	82	75	70	59	52	32	24	27	24
～44	130	122	75	69	65	54	48	30	22	24
～49	139	127	120	74	67	63	53	47	29	22
～54	181	136	124	118	72	66	62	53	46	29
～59	243	177	133	122	116	71	65	61	52	46
～64	284	227	166	124	114	108	67	62	58	49
～69	327	266	213	156	117	108	102	63	59	55
～74	276	309	252	203	148	112	103	98	61	56
～79	270	245	277	226	183	134	101	93	88	55
～84	291	238	214	246	201	163	120	91	83	79
～89	236	219	184	164	194	159	130	96	72	66
90～	140	177	186	177	164	178	163	142	115	90

(3) 移住者を考慮し、小学校 1 学年 15 人を保つ人口の推計【日野町推計 2】

(表-17) 【日野町推計 2】→【日野町推計 1】に移住者を考慮した人口推計

(仮定) 毎年 3 組の世帯(夫婦と子供 2 人)が移住

男 30 代前半 3 名、女 20 代後半 3 名

子供 4 歳以下 3 名、5～9 歳 3 名

5 年間で

男性 30 代前半 15 名、女性 20 代後半 15 名

子供 4 歳以下男 7 名女 8 名、5～9 歳男 7 名女 8 名

※ 1 学年 15 人を保つ目安として、5～9 歳の 5 歳階級で 75 人以上とする

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
人口	3,278	2,849	2,522	2,249	2,011	1,795	1,612	1,463	1,348	1,263
男	1,490	1,286	1,138	1,018	913	817	741	679	631	595
女	1,788	1,563	1,384	1,230	1,098	978	871	784	717	668

(表-18) 【日野町推計2】の年齢(3区分)別人口

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総数	3,278	2,849	2,522	2,249	2,011	1,795	1,612	1,463	1,348	1,263
～14	257	195	207	223	224	230	234	232	225	221
～64	1,481	1,200	988	854	780	712	658	649	645	619
65～	1,540	1,454	1,326	1,172	1,007	853	720	582	478	424
75～	937	879	861	813	741	634	515	421	359	290

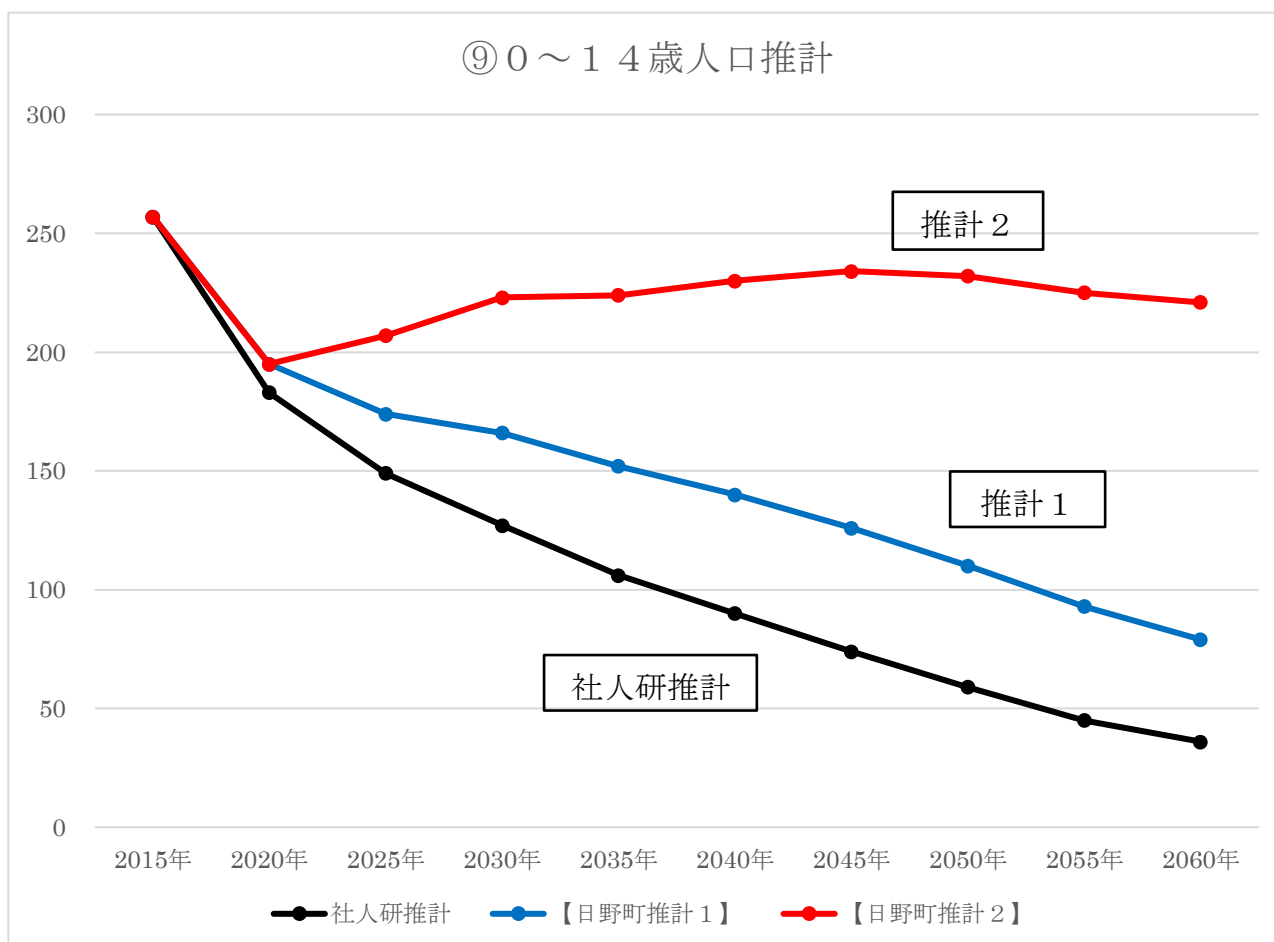
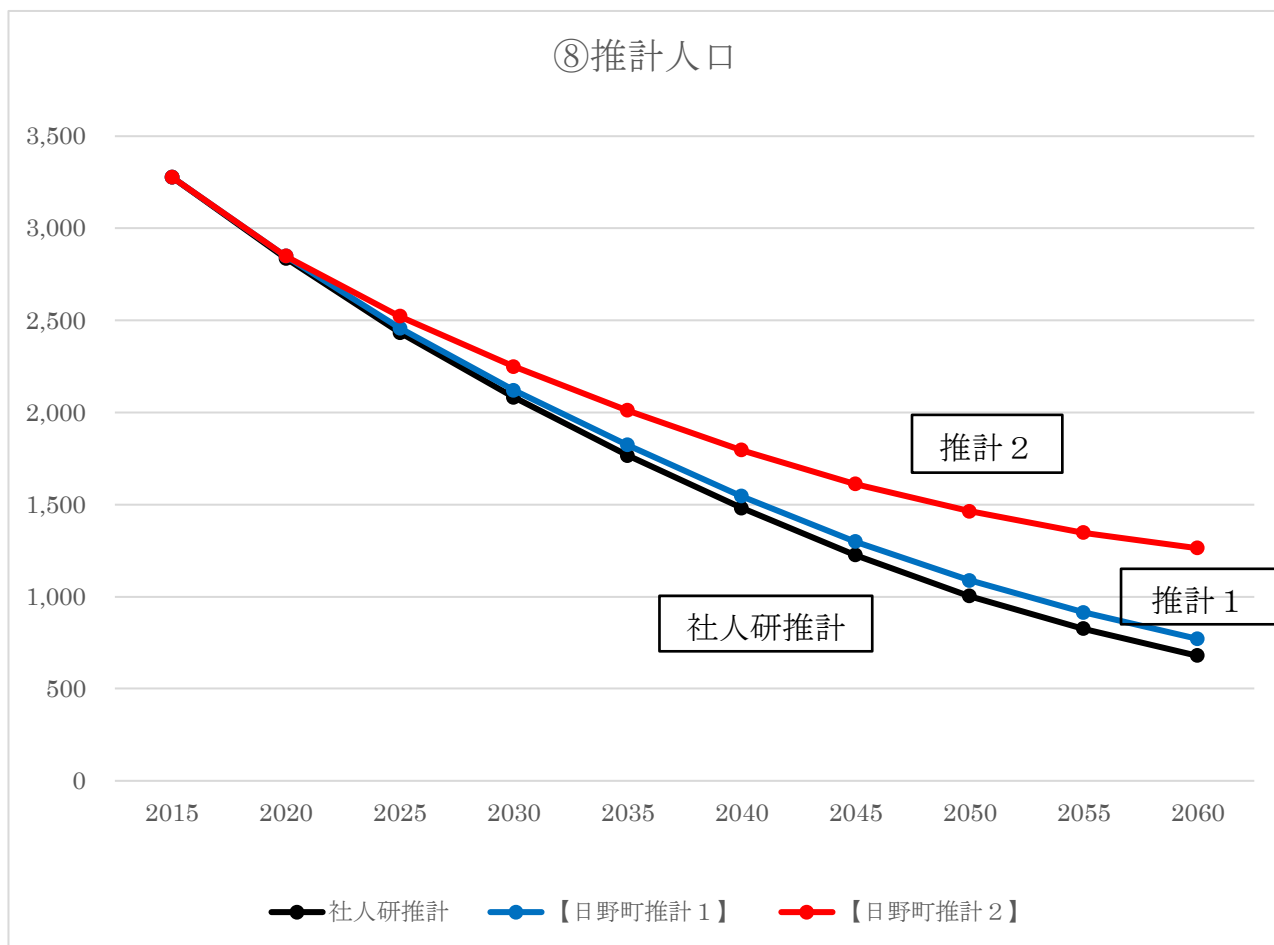
(表-19) 【日野町推計2】の年齢(5歳階級)別人口

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総数	3,278	2,849	2,522	2,249	2,011	1,795	1,612	1,463	1,348	1,263
～4	58	62	58	59	62	64	62	60	57	58
～9	76	57	76	73	74	77	79	77	75	72
～14	123	76	72	91	88	89	93	94	93	90
～19	114	100	62	59	75	72	73	76	78	76
～24	80	67	58	36	34	44	42	43	45	45
～29	89	83	70	61	38	36	47	45	45	47
～34	87	79	104	92	85	64	62	72	70	71
～39	134	82	75	98	87	80	61	59	68	67
～44	130	122	75	69	91	80	74	56	55	63
～49	139	127	120	74	67	88	79	72	55	53
～54	181	136	124	118	72	66	88	78	72	54
～59	243	177	133	122	116	71	65	86	77	71
～64	284	227	166	124	114	108	67	62	81	72
～69	327	266	213	156	117	108	102	63	59	77
～74	276	309	252	203	148	112	103	98	61	56
～79	270	245	277	226	183	134	101	93	88	55
～84	291	238	214	246	201	163	120	91	83	79
～89	236	219	184	164	194	159	130	96	72	66
90～	140	177	186	177	164	178	163	142	115	90

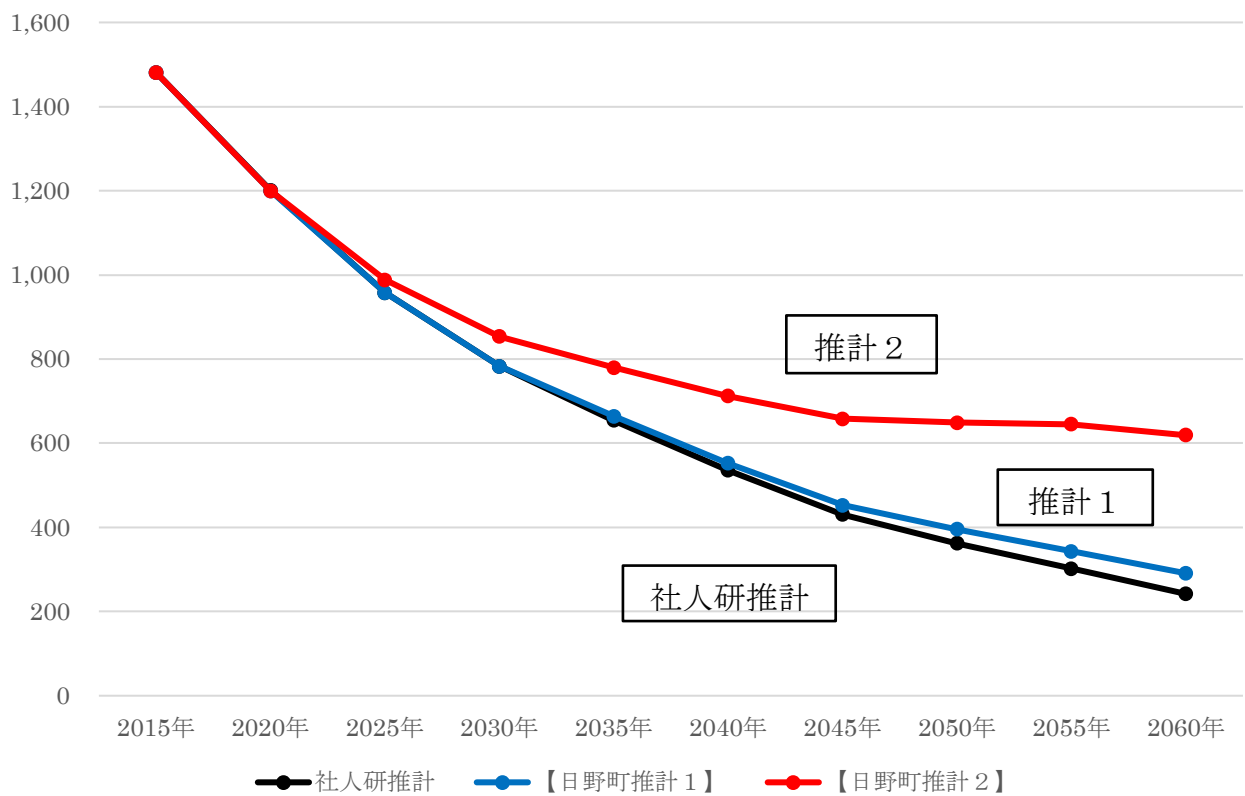
《考察》

ここでは内閣府から提供されたシミュレーションソフトを使用し内閣府の推計値とその推計値に日野町独自の特殊出生率を加味した【推計1】、また、特殊出生率に加え、小学校で1学年15人以上を保つために必要な移住定住者の受け入れを想定した【推計2】を行った。

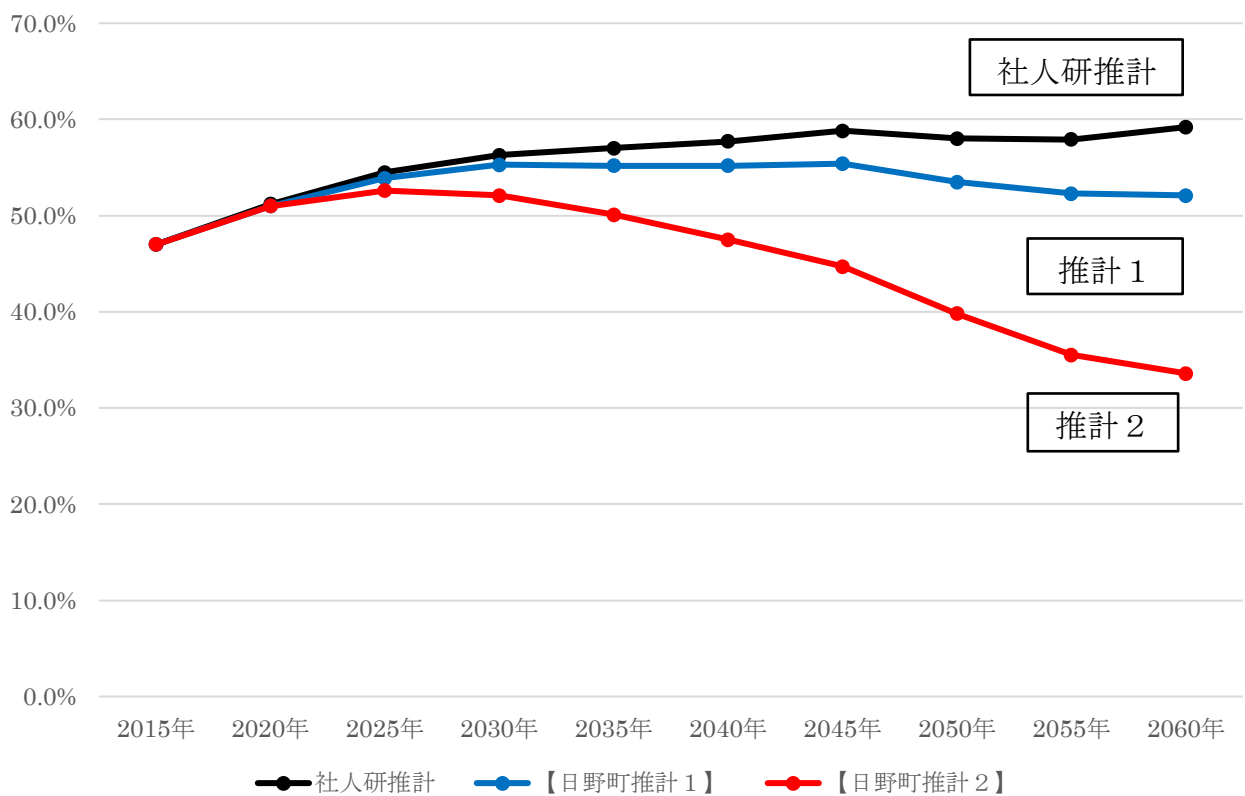
出生率の向上と移住定住者による若年層の確保で減少幅を縮小することができる。



⑩ 15～64歳人口推計



⑪ 高齢化率の推移



4 まとめ

平成25年に国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が発表した人口推計においては、本町の2040年の推計人口が1,861人でしたが、平成30年に発表した人口推計では1,481人で380人の減少が見込まれていました。これは2015年と比較すると約45%になるというものです。

全国的に人口減少が予想される中で、本町の人口が増加するということは考えられないというのが現状であり、減少スピードを緩やかにしていくことが、過疎に悩む自治体の進むべき道であると考えています。

人口の現状分析では若年層、特に20代の転出が多いことが明確になりました。生活の不便さや就職などの要因で近隣都市の米子市へ人口が流出している実態を受け止め、対策を行うことが人口減少を抑制する第一歩であると考えられます。

将来人口推計では、少子化対策により段階的に出生率を向上させることを想定し、合計特殊出生率によるシミュレーションを行いました。対象となる女性の人数が増加しなければ、出生率が向上することだけでは大きな変化をもたらすには至りませんでした。

また、「小学校1学年15人を保つ」ことを前提に、合計特殊出生率に加え、移住定住対策の取組により、移住者を受け入れるというシミュレーションを行いました。夫婦と子供2人の世帯を継続的に年間3世帯受け入れることで将来的に1学年平均15名前後を保つことが可能な結果になりました。

日野町としては、シミュレーション結果に近づけるよう、第2次きらり日野町創生戦略を策定し、移住定住及び少子化対策に積極的に取り組むことにより、人口減少に歯止めをかけるべく地方創生の実現に向けた取組を行います。